

101-152

問題文

交感神経系に作用する薬物について、正しいのはどれか。2つ選べ。

1. エチレフリンは、間接型のアドレナリン作動薬で、タキフィラキシーを生じる。
2. ブナゾシンは、アドレナリン α_1 受容体を遮断して、末梢血管抵抗を減少させる。
3. プリモニジンは、アドレナリン α_2 受容体を遮断して、眼房水の排出を促進する。
4. チモロールは、アドレナリン β_2 受容体を刺激して、気管支を拡張させる。
5. ニブラジロールは、アドレナリン β 受容体遮断作用に加えて、ニトログリセリンに類似した血管拡張作用を有する。

解答

2, 5

解説

選択肢 1 ですが

エチレフリンは、 α 、 β 受容体刺激薬です。直接受容体を刺激する薬であり、間接型ではありません。ちなみに、間接型とは、直接受容体を刺激するのではなく、ノルアドレナリンなどの遊離を促進する薬の総称です。代表的な間接型のアドレナリン作用薬はチラミン、アンフェタミン等です。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2 は、正しい選択肢です。

選択肢 3 ですが

プリモニジン（アイファガン）は、 α_2 受容体刺激薬です。遮断薬では、ありません。作用に関する記述は正しく房水排出を促進します。また、房水産生も抑制します。

選択肢 4 ですが

チモロールは、 β 遮断薬です。 β_2 受容体を刺激するわけではありません。また、気管支に作用すると平滑筋を収縮させます。拡張では、ありません。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 は、正しい選択肢です。

以上より、正解は 2,5 です。